

2022春季生活闘争 ヤマ場の回答引き出し状況に対する芳野中央闘争委員長コメント

2022年3月17日
日本労働組合総連合会

2022春季生活闘争において我々は、経済の後追いではなく経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を積極的に求める「未来づくり春闘」を展開し、2月末までに賃上げを要求した組合数は昨年を上回った。

先行組合回答引き出しのヤマ場（3月15～17日）に向けて、『人への投資』と月例賃金の改善にこだわった交渉を粘り強く進め、最大限の回答を引き出し、賃上げの社会的広がりを拡大していく」ことを確認し、交渉を進めてきた。

現時点までに示された回答は、産業による違いはあるものの、多くの組合で賃上げを獲得している。コロナ禍の影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻や燃料・資材価格の高騰等が起こった中での労使交渉となったが、中長期的視点を持って「人への投資」と月例賃金にこだわり粘り強く交渉した結果と受け止める。また、有期・短時間・契約等労働者の賃上げ結果も格差是正に向けて一歩前進と受け止める。

先行組合が引き出した回答は、総じて後に続く組合を勇気づけるものである。分配構造の転換をめざし、賃上げの流れを広げていくため、連合は、これから本格化する中堅・中小組合の交渉を、構成組織・地方連合会と一体となってサポートしていく。

以 上